

# 日本規格協会規格（JSA 規格）

## 「JSA-S1011 リチウム二次電池システムに用いる 類焼抑制フィルムの性能評価試験方法」 を開発・発行

2022年4月15日  
一般財団法人 日本規格協会

日本規格協会は、JSA-S1011『リチウム二次電池システムに用いる類焼抑制フィルムの性能評価試験方法』を2022年4月15日に発行いたしました。このJSA規格は、InsuRTAP株式会社が主体となり、蓄電池システムにおける燃え移り（類焼）を抑制するフィルム（類焼抑制フィルム）の試験方法について規定したものです。このJSA規格によって、類焼抑制フィルムの性能が適切に評価され、普及拡大に寄与できるものと期待しています。

### JSA 規格とは

JSA規格は、一般財団法人日本規格協会（本部：東京都港区、理事長：朝日弘）が発行する民間規格です。2017年6月の制度創設以来、標準化の専門機関である日本規格協会が、様々なステークホルダー（企業、団体、政府機関、学会など）からの多様な規格開発のニーズの相談・提案を受け、提案者の自主的な規格開発の取組みに対し、効率的なプロジェクトマネジメント支援を提供し、透明性・公平性及び客観性を確保したJSA規格を迅速に開発しています。

### リチウム二次電池システムに用いる類焼抑制フィルムの性能評価試験方法（JSA-S1011）について

太陽光発電を補完する家庭用蓄電池システムやEVの駆動用蓄電池システムなど、複数のリチウムイオン二次電池から成る蓄電池システムの用途はますます拡大し、さらに高出力化が進んでいます。その一方で、蓄電池システム内の一つの電池の熱暴走が近隣の電池に伝搬し、システム全体が発火する事故のリスクが高まっています。

「類焼抑制フィルム」は、内部の薬剤によってリチウムイオン単電池の熱暴走の炎を消火し、隣接する電池への類焼を抑制し、蓄電池システムの発火事故を防止するものです。

今回、このフィルムに関して、経年変化も考慮したフィルムの類焼試験方法を規格化することで、蓄電池システムの設計者がリチウムイオン蓄電池の形状や仕様などに応じ、適切な類焼抑制フィルムを選択できる試験環境を提供でき、類焼抑制フィルムの普及拡大によって、火災事故防止に寄与できることを期待しています。

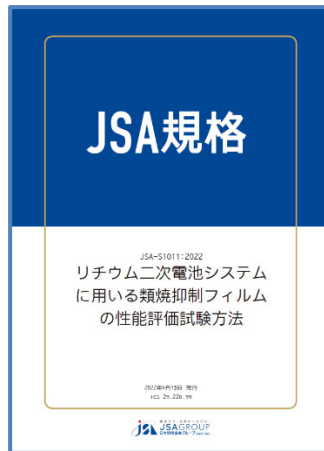
JSA-S1011：2022『リチウム二次電池システムに用いる類焼抑制フィルムの性能評価試験方法』（Performance evaluation test of fire propagation suppressing film used in secondary lithium cell systems）は、日本規格協会のウェブサイトからご購入いただけます。

JSA 規格の詳細はこちら↓

<https://webdesk.jsa.or.jp/common/W10K0500/index/dev/jsas/>

JSA-S1011 のご購入はこちら↓

[https://webdesk.jsa.or.jp/books/W11M0090/index/?bunsho\\_id=JSA-S1011%3A2022](https://webdesk.jsa.or.jp/books/W11M0090/index/?bunsho_id=JSA-S1011%3A2022)



お問合せ：一般財団法人日本規格協会 JSA 規格事務局（E-mail：jsastandard@jsa.or.jp）